



2018年12月14日

各 位

会 社 名 株式会社スマートバリュー
代 表 者 名 代表取締役社長 渋谷 順
(コード番号：9417)
問 い 合 わ せ 先 取締役経営企画管掌 藤原 孝高
TEL. 06-6448-1711

「クルマのサービス化」を推進するためのプラットフォーム 「Kuruma Base」を2019年5月からサービス開始

株式会社スマートバリュー（本社：大阪市西区、代表取締役社長：渋谷 順、以下当社）は、クルマのサービス化を推進するためのプラットフォーム「Kuruma Base」を2019年5月からサービス開始いたします。

記

1. 「Kuruma Base」構築の趣旨

当社は、「スマート&テクノロジーで歴史に残る社会システムを創る！」というミッションを掲げ、10年以上にわたって独自のモビリティ IoT サービスを開発・展開しており、クルマのコネクティッド分野において実績とノウハウを積み重ねてまいりました。

現在は損害保険会社とも提携し、テレマティクス保険を含む InsTech（注1）領域への研究の推進や、東南アジアを中心に、他社と協同でクルマの予防保全や EV のバッテリー管理などを目的とした実証実験に取り組むなど、走行データを活用した新たなビジネスモデルを展開し、モビリティ事業者としての領域を拡大しております。

そしてこの度、電動化や自動運転など自動車産業における技術革新の加速に伴い、当社は「コネクティッド」から「シェアリング化・サービス化」へと更に領域を拡大するため、モビリティ事業において強みとしてきた運行管理やデータ分析等の知見を活かしたクルマのサービス化に特化したプラットフォーム「Kuruma Base」を2019年5月より開始いたします。

2. 「Kuruma Base」の概要

「Kuruma Base」は、クルマのコネクティッド化からサービス化までをインテグレートする、当社長年の知見を活かしたプラットフォームです。

シェアリングサービス事業者や盗難防止サービス事業者など、「クルマのサービス化」の事業を行っている事業者向けに、月額料金で「Kuruma Base」を提供いたします。事業者側は、「Kuruma Base」を導入し、クルマを用意するだけで、新規事業者の参入障壁が高いとされる「データを活用したクルマのサービス」も、安価且つスピーディーに開始することができます。（※一部許認可等は事業者にて必要）

具体的には、カーシェアサービスプラットフォームとしての提供、高度なカーナビゲーションシステムの構築、電気自動車のバッテリー管理、クルマの故障情報の検知、遠隔でのクルマの制御など、クルマを利用するためのサービスを実現するプラットフォームとして展開予定です。現在、当社が既に取り組んでいる海外での実証実験への導入をはじめ、2021年6月までに、幅広いソリューションやサービス事業者5社への提供を予定しております。

当社は、モビリティ社会の変革に対応し得るプラットフォームを展開し、規模を拡大することで、将来的には社会・政策等を含めた「スマートシティ」の基盤とも言うべきプラットフォームへと発展を図り、MaaS（注2）社会におけるプラットフォームとしての展開を目指してまいります。

また、2018年9月26日に発表している当社ブランドによるカーシェアリングサービスにつきましても、「Kuruma Base」上で提供されるサービスとなります。

3. 今後の見通し

本件が当社の当期の業績に与える影響は、現段階におきましては軽微であると見込んでおりますが、中長期的には当社の業績の向上に資するものと考えております。今後、公表すべき事実が発生した場合には、速やかに公表いたします。

なお、詳細内容につきましては、別紙プレスリリースをご参照下さい。
今後も、中長期の成長に向け、積極的な投資を行ってまいります。

(注1) InsTech (インステック)

「保険=Insurance」と「テクノロジー=Technology」をかけた造語で、最新のIT技術を活用して保険分野にイノベーションを生む取り組みをいいます。

(注2) MaaS (モビリティ・アズ・ア・サービス)

Mobility as a Serviceの略で、ICTを活用して交通データをクラウド化し、自動車や自転車、バス、電車など、全ての交通手段を単なる移動手段としてではなく一つのサービスとして捉え、シームレスにつなぐ新たな移動の概念。

以上

「クルマのサービス化」を推進するためのプラットフォーム 「Kuruma Base」を2019年5月からサービス開始

株式会社スマートバリュー（本社：大阪市西区、代表取締役社長：渋谷 順、以下スマートバリュー）は、クルマのサービス化を推進するためのプラットフォーム「Kuruma Base」を2019年5月よりサービス開始いたします。

「クルマのサービス化」を推進するためのプラットフォーム



1. 背景

昨今の自動車産業は、技術革新によって100年に1度の破壊的イノベーションを迎えていると言われていています。とりわけ、C（つながるクルマ）・A（自動運転化）・S（シェアリング化・サービス化）・E（電動化）の頭文字をとった「C.A.S.E」の4分野によって、商品構造やバリューチェーン、ビジネスモデルなどに変革がもたらされるとされています。

「S（シェアリング化・サービス化）」は、MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）においても重要なインフラだと言われています。それを革新的に提供する手段として「C（つながるクルマ）」「A（自動運転化）」「E（電動化）」が位置づけられており、これら技術の発展によって日々様々な業界が「シェアリング化・サービス化」に参入しています。

スマートバリューは、「スマート&テクノロジーで歴史に残る社会システムを創る！」というミッションを掲げ、10年以上にわたって独自のモビリティIoTサービスを開発・展開しており、クルマのコネクティッド分野において実績とノウハウを積み重ねてきました。また、時代の潮流に伴って、クルマのコネクティッド化から走行データの蓄積・分析による新たなビジネスモデルの構築に取組み、モビリティ事業としての領域を拡大してまいりました。

そしてこの度、「C.A.S.E」の進展に伴って更なる拡大を推進すべく、クルマを利用するためのサービスを提供する、クルマのサービス化に特化したプラットフォームを構築することといたしました。

2. 「Kuruma Base」の概要

「Kuruma Base」は、シェアリングサービス事業者さまや盗難防止サービス事業者さまなど、「クルマのサービス化」の事業を行っている事業者さま向けのプラットフォームを月額料金でご提供するサービスです。

クルマに接続する専用端末、クラウド上の管理コンソール、利用者向けスマートフォンアプリ、運用サポートサービスで構成されます。

クルマに接続する 専用端末



ドアロックやイグニッションとの連動の他、通信型ドライブレコーダー機能にも対応し、万が一の事故等の際に映像を記録し、事故解決を迅速・円滑に進めることに寄与します。

管理コンソール



車両のメンテナンス時期の管理や利用者の独自ポイントや決済情報の管理など、シェアリングサービスや盗難防止サービスに必要な一通りの機能を備えます。

利用者向け スマートフォンアプリ



スマートフォンから車両の検索、予約、車両の解錠/施錠、ドライブレコーダーの映像確認などが可能です。更に当社が蓄積した膨大な走行データを基に分析した独自の安全運転分析ロジックにより、運転者個人の安全運転のスコアリングにも対応します。

運用サポートサービス



クルマのサービス化事業を行う際に必要な車両のメンテナンスや定期清掃、コールセンター対応などを弊社にて代行するサービスです。

「クルマのサービス化」の事業を検討されている事業者さまは、クルマをご用意いただければ安価且つスピーディーに事業を開始することができます。※一部許認可等は事業者さまにて必要となります。

「Kuruma Base」というサービス名には、「クルマの(で)革新を起こす基地」として、子供の頃の様に夢中になれるサービスを目指し、皆が集まり、イノベーションを生み出す場所にしたい、そんなプラットフォームにしていきたいといった思いが込められています。

なお、2018年9月26日に発表しているスマートバリューブランドに依るカーシェアリングサービスにつきましても、「Kuruma Base」上で提供されるサービスとなります。

3. 「Kuruma Base」のご利用例

・カーシェアリング事業者さま

カーシェアリングシステムとして必要な機能を一式ご利用いただけるため、独自でシステムを構築することに比べ大幅に安価にカーシェアリングサービスを開始することができます。

更に、スマートフォンからのドアロック操作、利用者ごとの独自ポイント制度、ドライブレコーダー対応に依る安全性の向上など、最新機能を搭載しています。

・個人間カーシェアリング事業者さま

従来の個人間のカーシェアリングは 対面での鍵の受け渡しが必要でしたが、「Kuruma Base」をご利用いただくことで、スマートフォンによるドアロックの解除/施錠が可能となります。

鍵データについては、特定の時間帯のみ有効に設定することができるため、クルマのオーナーさまも安心して車両を貸し出すことができます。

・新車・中古車販売事業者さま

① 販売層の拡大

本システムをご利用いただくと、遠隔で車両のドアロック等の制御が可能となります。

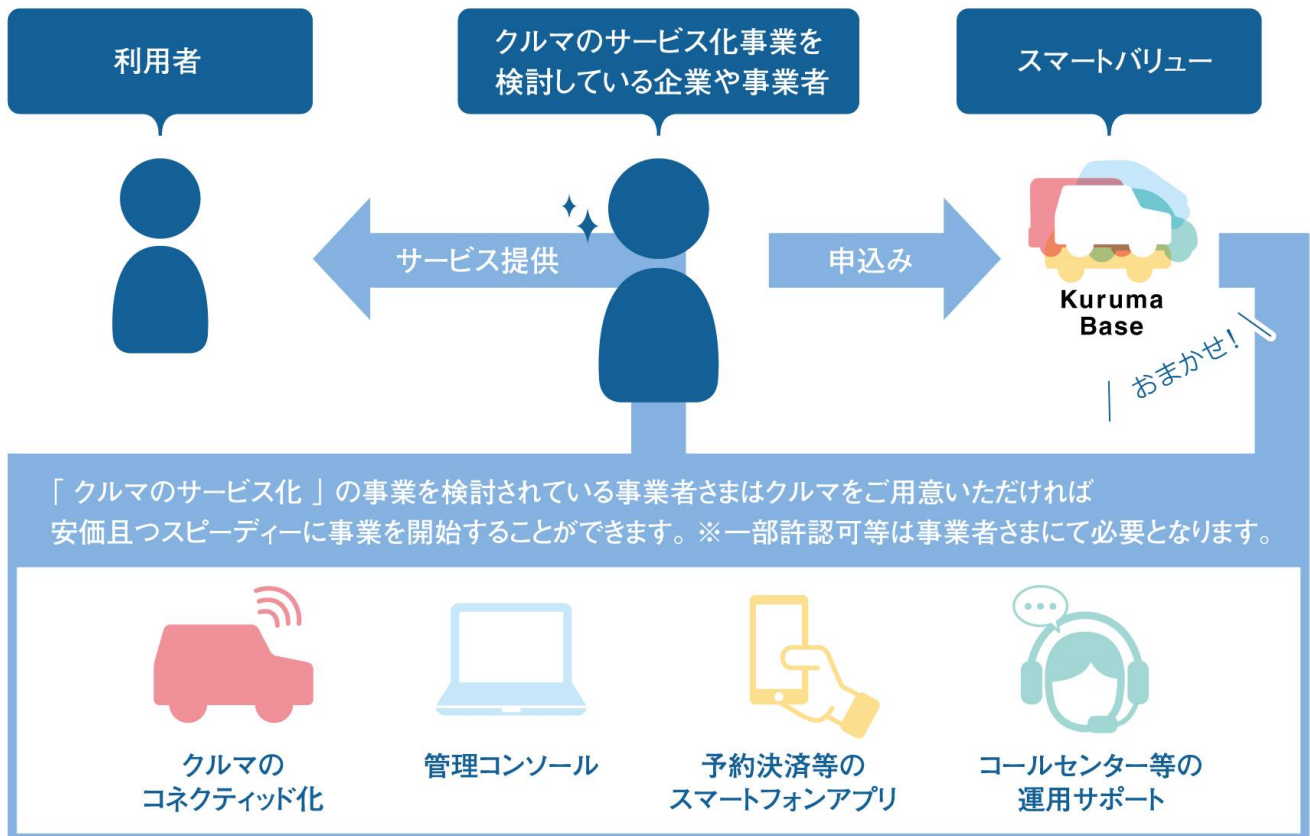
オートローンの支払いが滞った場合に、車両の利用を遠隔で制御することにより、審査に通りにくい方にもオートローンを提供することが可能となります。

② シェアリング対応車両として販売

車両販売時に「Kuruma Base」に対応させておくことで、オーナーがクルマを使用しないときに、クルマを使いたい人とシェアリングをすることによりローン等の維持費を軽減できるクルマとして販売することが可能です。

・盗難防止サービス事業者さま

車両が盗難に遭った場合、管理コンソールや利用者向けスマートフォンアプリから操作することによって、次回運転からドアロックが開かない、もしくは次回からエンジンがかからないようにすることが可能です。



4. 今後の展開イメージ

2019年5月 「Kuruma Base」サービス開始

2019年5月 スマートバリューでのカーシェアリングサービス運用を開始

2021年6月までに5社のクルマのサービス化事業者さまへの提供を予定しております。

会社概要

会社名 株式会社スマートバリュー
代表者名 渋谷 順
所在地 大阪市西区靱本町2丁目3番2号
設立年月日 1947年6月
資本金 959,454千円
事業内容 クラウドソリューション事業・モバイル事業
ホームページ <https://www.smartvalue.ad.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社スマートバリュー つながる創造室 光田 直之（ミツダ ナオユキ）

電話番号 080-8302-1804・06-6448-1711

メール naoyuki.mitsuda@g.smartvalue.ad.jp

info@g.smartvalue.ad.jp

大阪 大阪市西区靱本町二丁目3番2号 なにわ筋本町MIDビル4階

東京 中央区築地五丁目6番4号 浜離宮三井ビルディング6階

以上